

2011年度 広島文教女子大学 司書講習
「図書館資料論」シラバス

日程 8/3 (水) ~8/6 (土)

担当講師 古賀 崇 (京都大学附属図書館研究開発室 准教授)

授業の概要

図書館サービスを成り立たせる最も重要な要素は、「資料」の存在と、それを収集して構築した「コレクション」である。これら「資料」「コレクション」の形態は、情報技術の進歩とともに変化し、多様化している。図書館法の2008年改正に際しても、こうした「資料」「コレクション」の変化が反映されている。この授業においては、図書館資料の種類と特徴を論じ、また図書館における資料の取り扱い、コレクション構築などについて説明する。

授業の進行予定

(1)図書館資料の概念 (テキスト第1章)

「記録情報メディア」の発展史をたどりつつ、図書館資料の概念を説明する。

(2)図書館資料の種類と特質 (テキスト第2章)

図書、雑誌、視聴覚資料、「ネットワーク情報資源」など、図書館資料の特質を種類ごとに説明する。

(3)出版と流通 (テキスト第4章の1.、2.)

図書館資料の中心を成す図書・雑誌について、その出版・流通をめぐる現状と問題点を論じる。

(4)図書館の自由 (テキスト第4章の3.)

図書館における資料の収集・提供を基礎づける概念である「図書館の自由」について説明するとともに、これをめぐる最近の問題を論じる。

(5)コレクション構築 (テキスト第3章の1.、2.、6.)

図書館資料の集まりである「コレクション」の構築について、その意義と過程を説明する。また、コレクション構築のために何を図書館資料として受け入れるかについての基準についても説明する。

(6)図書館資料の収集・管理・保存 (テキスト第3章の3.、4.)

図書館での資料収集の実情や、受け入れた資料の取り扱い方、資料保存の方法について説明する。

(7)コレクション評価 (テキスト第3章の5.)

図書館で構築されたコレクションの評価方法について説明する。

使用テキスト

平野英俊編『改訂 図書館資料論』樹村房, 2004.

参考文献

この裏面を参照。

成績評価方法

4日目(8/6)の最後の授業時間に行う筆記試験、およびレポート(詳細は別紙で説明)に、出席状況等を加味し、総合的に評価する。なお、配点の都合で、筆記試験: レポート=56:44の割合とする。

筆記試験について

テキスト、配布資料、自筆ノートの持ち込みを認める。